

膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

(令和4年度)

膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ活動報告

広島県地域保健対策協議会 膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

WG長 岡 志郎

I. はじめに

膵臓がんは、早期での自覚症状が無く早期発見が難しい。5年生存率が80%とされる早期がんが含まれるステージ0とIを合わせた発見割合は11.0%という低い水準が続いており、部位別死亡者数は男女とも増加傾向にある。

このため、膵臓がん早期発見・治療のための医療提供体制を構築することが急務であり、広島県がん対策推進計画（第3次）に基づき、膵臓がんの早期発見・治療のフローを本ワーキンググループにおいて検討してきた。

本ワーキングは令和2年8月19日から開催され、県内の各がん診療連携拠点病院において「リスク保有者に対する定期的な検査」と「地元かかりつけ医への声掛け」に取り組んでいる現状や課題を共有した。

令和4年度は、Hi-PEACEプロジェクト（以下「プロジェクト」とする。）の始動を開始した。本プロジェクトが始動するまでにWGで検討された膵臓がんの早期発見・治療のためのフロー確定、ポスター等を活用した周知方法等の協議結果について報告する。

II. 開催状況

(1) 第1回（開催日：令和4年5月9日）報告・協議内容

①前回WG（令和4年12月17日）の議事内容について

- ・前回のWGでは、委員から各医療圏の中核施設に患者を紹介するフローが示され、大枠について委員の了解を得たが、危険因子の簡略化について意見があったため、再検討することとした。
- ・画像検査異常については、できる限り制限を設けず、紹介する方向で検討することとした。

②膵臓がん早期発見に係るプロトコールについて委員より、前回WGで検討した内容を基本として作成した、膵臓がん早期発見に係る共通プロトコール（案）が示され、概ね了承された。ただし、今回の検討で固まるものではないとし、実情に応じて変更していくこととした。

③地域医療圏（中核施設）の制定について各二次医療圏に中核施設を指定し、かかりつけ医からの紹介を受ける形とした。

中核施設を20施設指定することとし、WGに参加していない9つの中核施設には協力を依頼することとした。

医療圏（施設数）	中核施設
広島二次医療圏（7施設）	広島大学病院、広島市立広島市民病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、安佐市民病院、広島記念病院、済生会広島病院
広島西二次医療圏（1施設）	JA広島総合病院
広島中央二次医療圏（2施設）	東広島医療センター、県立安芸津病院
呉二次医療圏（4施設）	呉医療センター・中国がんセンター、呉共済病院、中国労災病院、済生会呉病院
尾三二次医療圏（2施設）	JA尾道総合病院、三原赤十字病院
備北圏域（2施設）	市立三次中央病院、庄原赤十字病院
福山・府中二次医療圏（2施設）	福山市民病院、福山医療センター

④下記の事項を検討し、委員の意見を元に修正等を行った。

- ・拾い上げ項目の制定
- ・リスクファクター項目

⑤画像診断（画像検査異常）について、委員の意見を元に下記のとおり整理した。

- ・判断に迷う場合には出来る限り制限を設けず、紹介すること。
- ・中核施設側に紹介理由を付すこと。

(2) 第2回（開催日：令和4年8月5日）報告、協議事項

①前回の議事概要について

- ・前回WG（令和4年5月9日）の議事内容について報告
- ・共通プロトコルを示し、紹介の基準となるリスクファクターを決定
- ・中核施設については、前回WGのとおり20施設を指定した。

②ポスター、リーフレットについて

- ・委員から膵臓がん早期発見プロジェクトの名称を、「Hi-PEACE プロジェクト」（Hiroshima Pancreas Cancer Early Diagnosis with Collaboration and Examination）とする提案があり、了承された。
- ・事務局からポスター案、リーフレット案が提示された。委員からの意見を踏まえ、プロジェクト名についての説明とHPのQRコードを加えることで完成とし、作成について承認された。

③今後のスケジュールについて

- ・市郡地区医師会長会議において地区医師会へのプロジェクト説明及び協力依頼を予定
- ・中核施設への説明内容のすりあわせのため、10月初旬に専門医への説明会を実施する。また、10月以降、中核施設から地区医師会へプロジェクトの説明と協力依頼を行い、準備が整った地域からプロジェクトを開始する。

(3) 第3回（開催日：令和4年9月9日）報告、協議事項

①前回の議事概要について

- ・第3回WGより、広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 岡志郎教授がWG

長として就任することが報告された。

- ・中核施設病院長に対し、プロジェクトへの協力依頼文書を送付したことが報告された。

②ポスター、リーフレットについて

- ・事務局から、前回WG（令和4年8月5日）での意見を踏まえた修正案が示され、了承された。
- ・事前資料送付時リーフレット内に「すい癌」「すい臓がん」の2つの表現があったため、「すい臓がん」に統一する修正を行った。

③今後のスケジュールについて

- ・9月27日（火）の市郡地区医師会長会議でプロジェクトの説明と協力依頼を行う。
- ・中核施設の専門医向け説明会を開催予定（令和4年11月、令和5年2月）
- ・中核施設病院長への個別訪問、地区医師会へのプロジェクト説明を順次進める予定。説明は広島市域から進めるが、既に連携の進んでいる地域については、広島市域への説明を待たず、順次進めることとした。

Ⅲ. 令和4年度の成果

WGの中でプロジェクトのプロトコルを決定し、プロジェクトの広報活動やデータ収集方法等について検討した。その後、市郡地区医師会長会議での説明を経て、中核病院の病院長や各地区医師会への説明を行い、プロジェクトへの協力を依頼するとともに、各地区医師会事務局を通して、ポスター及びリーフレットを各医療機関へ配布し、プロジェクトを開始した。

Ⅳ. 今後に向けて

このワーキングの取組は全国的に注目されており、令和5年3月20日の中国新聞において紹介された。

今後は啓発活動を継続しつつ、プロジェクトを進め、活動成果については、紹介率や早期がん診断率等のデータを収集し、プロジェクトの成果を検証する。

【資料編】

①リーフレット

- WGでの意見を元に、地域医療圏や中核病院等、必要な情報をまとめ、分かりやすいリーフレットになるよう努めた。リスクファクターの膵酵素や腫瘍マーカーの種類など詳細な説明が必要な項目に対しては、QRコードを掲載し、本プロジェクトのHPにアクセスを可能とした。

すい臓がん Hi-PEACEプロジェクト始動!

すい臓がんは、早期での自覚症状がなく、早期発見が難しいため、5年生存率は非常に低くなっています。「治療ができる小さなすい臓がんをいかに早期発見するか」がとても重要です。

このため、広島県医師会、広島大学、広島県、広島市でプロジェクトを立ち上げ、地域の中核病院やかかりつけ医の協力を得て、すい臓がんの早期発見・早期治療の仕組みを作ることにしました。

「Hi-PEACE」は、「平和」の地である「広島」で、関係者が連携し、すい臓がんになっても早期に治療し、安心して生活できる社会を目指して奮闘しています。

早期発見が重要! (5年相対生存率)

ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV
49.9%	21.6%	6.9%	1.9%

進め方 地域連携を通じて、種別検査結果に基づく診断や必要なフォローを実施します

かかりつけ医
 ○問診
 ○リスクファクターを確認
 ○画像検査(エコー、CTなど)
 すい臓の状態を確認

中核病院
 ○精密検査(CT、MRI、超音波内視鏡など)
 ○がんが見つかったら治療

リスクファクターとは 「がんを引き起こす恐れのある要因」のことです

Low-grade 危険因子	High-grade 危険因子
<input type="checkbox"/> すい臓がん家族歴 第一度近親者(親子、きょうだい)以内に1人 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 肥満(BMI>30kg/m ²) <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 飲酒(3合/日以上) <input type="checkbox"/> すい臓炎	<input type="checkbox"/> すい臓がん家族歴 第一度近親者(親子、きょうだい)以内に2人以上 <input type="checkbox"/> 糖尿病の新規発症/増悪 <input type="checkbox"/> 腫瘍マーカーの上昇

Low-grade 危険因子 3項目以上 High-grade 危険因子 1項目以上

各医療圏の中核病院に紹介

広島県地域保健対策協議会
 一般協賛: 広島県医師会 広島大学 広島県 広島市

中核病院で精密検査・治療を行います

①広島大学病院
 広島市中区本町1732-3
 TEL:082-251-5555(代表)

②広島市立広島市民病院
 広島市中区東町7-33
 TEL:082-221-2261(代表)

③県立広島病院
 広島市南区宇品南1735-54
 TEL:082-254-1818(代表)

④広島赤十字・原爆病院
 広島市中区千原1710-6
 TEL:082-241-3111(代表)

⑤広島市立北部医療センター
 安佐市民病院
 広島市安佐区安佐南1732-1
 TEL:082-810-5211(代表)

⑥広島記念病院
 広島市中区北町1734-3
 TEL:082-250-1271(代表)

⑦済生会広島病院
 広島市安芸区基山1723-10
 TEL:082-884-2968(代表)

⑧JA広島総合病院
 広島県尾道市基山1732-3
 TEL:0829-36-3111(代表)

⑨東広島医療センター
 広島県東広島市西条1730-8
 TEL:082-423-2176(代表)

⑩県立安芸津病院
 広島県安芸市安芸津東4300
 TEL:0846-45-0050(代表)

⑪真徳会センター
 中国府がんセンター
 広島県中国府市3-1
 TEL:0829-22-3111(代表)

⑫興共済病院
 広島県中国府市1733-20
 TEL:0829-36-3111(代表)

⑬中国労災病院
 広島県府中東町1725-1
 TEL:0823-72-7171(代表)

⑭済生会真徳会病院
 広島県庄原市庄原2710-13
 TEL:0823-21-1601(代表)

⑮JA尾道総合病院
 広島県尾道市宇野17310-23
 TEL:0848-22-8111(代表)

⑯三原赤十字病院
 広島県三原市東町2727-1
 TEL:0848-64-8111(代表)

⑰市立三次中央病院
 広島県三次市東町17033-8
 TEL:0824-85-0101(代表)

⑱庄原赤十字病院
 広島県庄原市西町2710-10
 TEL:0824-72-3111(代表)

⑲福山市民病院
 広島県福山市東町1733-1
 TEL:084-841-0101(代表)

⑳福山医療センター
 広島県福山市東町1747-13-17
 TEL:084-822-0001(代表)

問い合わせ連絡先:

②ポスター

- WGでの意見を元に Hi-PEACE プロジェクトの説明や、膵臓がんには早期発見が有効であることを印象付けるよう記載を工夫した。
- デーモン閣下の写真を使用し、インパクトを与える内容とした。
- また、詳細な情報を知りたい場合にすぐ情報入手が可能となるよう QR コードを掲載した。

すい臓がんは多くの場合、進行した状態で発見される恐ろしい疾患だ。

だが、**早期に発見すれば生存率は高くなる!**

すい臓がん Hi-PEACEプロジェクト始動!

早期発見が重要! (5年相対生存率)

ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV
49.9%	21.6%	6.9%	1.9%

すい臓がんの治療は早期発見が鍵となるため、この際、早期発見のためのプロジェクトを立ち上げました。「Hi-PEACE」は、「平和」の地である「広島」で、関係者が連携し、すい臓がんになっても早期に治療し、安心して生活できる社会を目指して奮闘しています。

Hi-PEACE: Pancreatic Cancer Early Diagnosis with Collaborations and Examinatory, etc.

広島県地域保健対策協議会
 一般協賛: 広島県医師会 広島大学 広島県 広島市

広島県地域保健対策協議会 膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

WG長 岡 志郎 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学
委員 古川 善也 広島赤十字・原爆病院
池本 珠莉 広島大学病院消化器内科
石村 泰宏 広島県健康福祉局健康づくり推進課
植木 亨 福山市民病院
岡崎 彰仁 東広島医療センター
小川 恒由 福山市民病院
栗原 啓介 市立三次中央病院
佐々木民人 県立広島病院
芹川 正浩 広島大学病院消化器内科
花田 敬士 JA尾道総合病院
濱井千年世 広島市健康福祉局保健部健康推進課
平尾 謙 広島市立広島市民病院
藤川 光一 広島県医師会
藤本 佳史 JA広島総合病院
南 智之 広島赤十字・原爆病院
三宅 規之 広島県医師会
山口 厚 呉医療センター・中国がんセンター
行武 正伸 広島市立北部医療センター安佐市民病院
吉原 正治 広島大学保健管理センター